

〔国際会議開催〕

申請者	北海道大学大学院 准教授 飯塚 博幸	2175001
国際会議名称	The 2018 Conference on Artificial Life	
開催期間	2018年7月22日～7月27日	
開催場所	日本科学未来館 (東京都江東区)	
申請者の役割	論文集製作・会計補佐	

概要：

人工生命研究は、生命の生命らしさとは何かを、要素と要素の相互作用が生み出す自律的なダイナミクス、つまり、創発現象に見出すことで、その仕組みを理解し応用する分野である。この観点から、コンピュータやロボットなどの様々な人工メディアを用いて生命的な振る舞いを創り出すことで、生命の自律性・進化・発達・学習を探索してきた。

今回のテーマは Beyond AI である。現在、人工知能技術は、ありとあらゆる人が行ってきた作業を機械に行わせることで、実社会応用が期待されている。人工知能技術はいわば、自動化技術であるのに対して、人工生命の目指すところは、システムの自律化技術である。この意味で、自動化技術の人工知能を超えた自律的な生命知能をいかに実現していくかが議論の中心となった。

本学会では、生化学、哲学、芸術を取り込み、今まで以上の学際的な議論を実現した。特に、際限なく進化し続けるオープンエンド、現実世界にグラウンドした化学的生命現象の創発、社会的、意識的生命現象に対する構成論的アプローチ、科学と芸術の融合についての議論が活発に行われ、実際に科学と芸術を融合させた Scary Beauty が一つの方向性として示された。また、若手研究者育成のための ISAL Student meeting, Alife を通した子供の好奇心育成のための Alife for Kids ワークショップ、一般向けプレカンファレンスを開催することで、アウトリーチ活動にも力をいれ、多くのサイエンスニュースに取り上げられた。

本学会での議論、科学と芸術との融合を目指した新しい試みを通して、Alife 研究には大きなパラダイムシフトを起こすきっかけになった。